平成２１年 10 月 11 日
NPO 四季の森里山研究会
松崎龍之介・宮下修一
武川俊二・金森　巌

里山の木の実・草の実

１．実（果実）とは？

受粉しためしべの子房が発達したもので種が入っている。被子植物の果実は、繁殖戦略として動物の食料になる部分を種子の周りに発達させ、食われることで動物の体内を通じて種子の散布を行う目的に進化したもの。

２．四季の森公園で見られる木の実・草の実（本日のルートで）

〔木の実〕アキニレ、シラカシ、アオキ、ヤツデ、シュウロ、サンショウ、キブシ、ナツツバキ、アジサイ、ミズキ、ホウノキ、サンシュユ、ミツバウツギ、ツリバナ、ガマズミ、マユミ、ヤマボウシ、カエデ、エゴノキ、ヤシャブシ、コブシ、シナサワグルミ、オニグルミ、ヤマグワ、クヌギ、コナラ。

〔草の実〕オシロイバナ、ノコンギク、カンクビソウ、タイアザミ、オカトラオ、イノコヅチ、ミズヒキ、ツリフネソウ、キツリフネ、ミソソバ、イヌタデ、チジミザサ、カントウヨメナ、ヨウシュヤマゴボウ、オオオナモミ、ジュジュダマ。

３．引っ付き虫のいろいろ

人や動物に種子を運ばせて生育範囲を広げる植物。ヌスビトハギ、イノコズチ、オオバコ、チジミザサ、アメリカセンダングサ、オオオナモミなど。

４．鳥と実の関係は密接

赤い実は鳥に目立つ。しかし、鳥は、赤、緑、青以外に近紫外線を感じ、黒などの果実を感知できる。種子は消化されないよう堅い殻で守られ、糞と一緒に落とされそこから芽が出ます。

５．どんぐりとは？

どんぐりとはブナ科の果実のこと。日本にはどんぐりのなる木は 20 種類ほど（クヌギ、コナラ、シラカシ、マテバシイ、クリなど）。どんぐりの語源の一つは、この実をコマにして遊んだことからコマの古名「ツムグリ」が「ドングリ」に転じたのでは。ツムグリの「ツム」は「回転する」、「クリ」は「石」の古語。また、漢字では「団栗」と書き、団は丸いの意味。ここではどんなドングリが見られるでしょうか。

６．毒のある実（裏側にあります。）

次回の自然観察会の予定：平成２１年 11 月８日（日）１３時より　　**お疲れ様でした。**